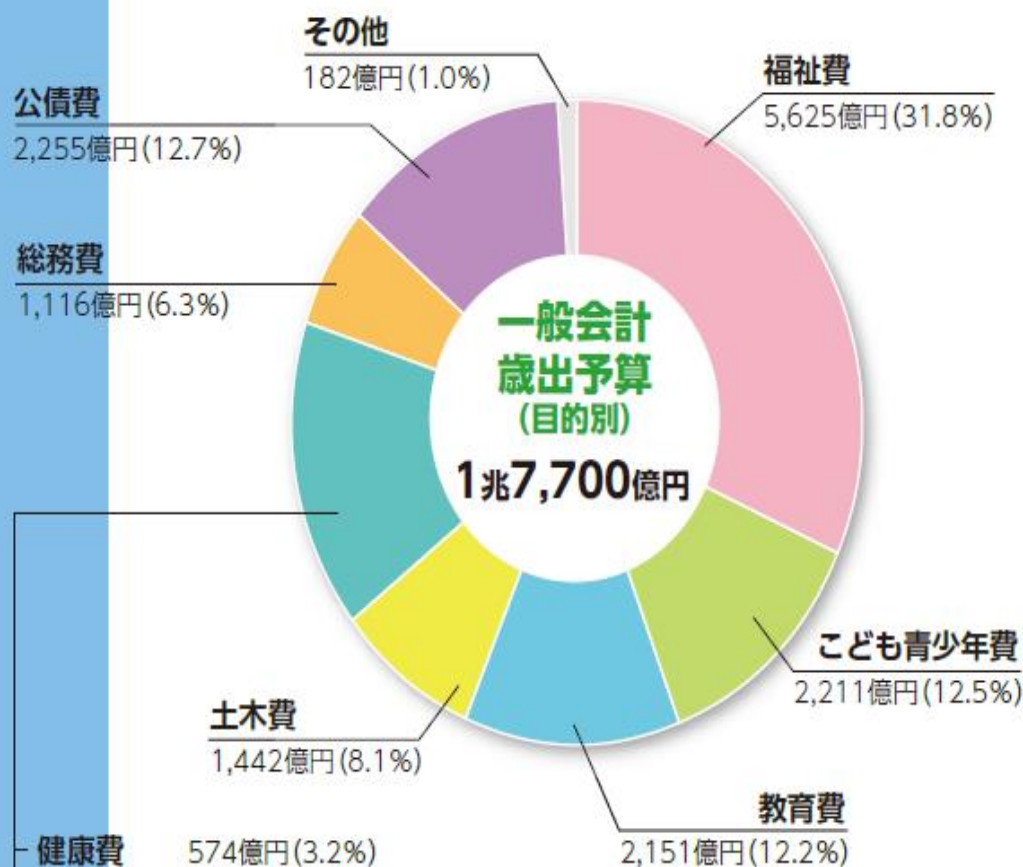


令和2年度 予算案を編成しました



市債残高の推移 (全会計ベース)



行財政改革を着実に進めてきたことなどにより、ピークの平成16年度から約2.2兆円の減少を見込んでいます。

令和2年度予算編成にあたっては、行財政改革を徹底的に行い、過去に積み立てた貯金や未利用地等の売却に頼ることなく、収入の範囲内で予算を組むことを原則としました。

将来世代に負担を先送りすることのないよう、財政健全化に着実に積極的に取り組みます。

その中で「大阪の成長」と「市民サービスの拡充」に向けたさまざまな事業を、一層の選択と集中を行いながら進めていきます。

問い合わせ▶ 財政局財務課 ☎6208-7714 FAX 6202-6951

使用料・手数料の改定等の主なもの

1 国民健康保険料 (4月から)

令和6年度までに市町村ごとの保険料率を府内で統一化する必要があります。

令和2年度の一人当たり平均保険料については、医療給付費などの自然増を反映するものの、引き続き、令和元年度より実施している激変緩和措置を講じます。

一人当たり平均保険料(年額)

134,838円 → 140,488円

2 後期高齢者医療保険料 (4月から)

医療費等の状況を踏まえ、大阪府後期高齢者医療広域連合の決定により改定します。(2年に1度)

被保険者均等割額(年額)

51,491円 → 54,111円

3 介護保険料 (4月から)

消費税率引き上げに伴う低所得者に対する保険料の軽減を強化します。

保険料(年額)

第1・第2段階…… 40,428円 → 33,294円

第3段階…… 54,697円 → 47,562円

第4段階…… 68,965円 → 66,587円

問い合わせ

1・2 …… 福祉局保険年金課

☎6208-7961 FAX 6202-4156

3 …… 福祉局介護保険課

☎6208-8028 FAX 6202-6964

令和2年度 旭区関連予算(案)の概要

旭区では、「旭区将来ビジョン2022」において、「安心して住み続けられるあたたかいまち 旭区」を区の将来像として掲げ、その実現に向けて平成30年度から5年計画で取組を進めています。計画の3年目となる令和2年度については、子育て・教育環境の一層の充実、区民一人ひとりの生活に寄り添った福祉・健康施策の展開、地域コミュニティの活性化とまちの魅力の創出、地域防災力・地域防犯力の強化に重点を置くとともに、ニア・イズ・ベターを徹底することで、必要な事業への積極的な投資を実現すべく、以下の観点から予算編成を行いました。

- 子育て支援の更なる充実と全ての子どもが希望を持ってたくましく生きる力を身につけるための取組強化
- 「人生百年時代」を健康にいきいきと暮らすための取組の推進と住み慣れた地域で安心して住み続けられるセーフティネットとしての福祉等施策の展開
- 地域コミュニティ活性化のための取組推進と
まちの魅力創出や地域経済活性化に向けた取組強化
- 地域や関係機関等との連携による防災体制の充実・強化と
効果的な防犯・交通安全の取組推進
- 防災拠点になる区役所庁舎及び附設会館(区民センター)の機能維持・設備充実

主な事業

あさひ子育て見守り事業	(予算額 8,841千円)
子育て安全ネット事業	(予算額 6,824千円)
あさひ学び舎事業	(予算額 5,604千円)
国産木材活用コミュニティ活性化事業	(予算額 4,823千円)
防犯対策事業	(予算額 3,619千円)

旭区関連予算	1,021,684千円
区長自由経費	320,547千円
区CM(注)自由経費	701,137千円

注: 区シティ・マネージャー

(区域内の基礎自治に関する施策などの実質的な責任者)

問合せ 区役所 庶務(3階31番) ☎ 6957-9625

※大阪市全体の予算は「大阪市民のみなさんへP.6」をご覧ください。